

公共建築から見る宮城県の復興

～ 被災した建物を移転・再建しています ～

【宮城県土木部営繕課】

① 気仙沼合同庁舎

防災拠点機能の確保と環境への配慮のため、耐震性の高い構造とし、太陽光発電及び自家発電を設置しています。

また、大会議室は一般開放時の利便性向上のため、玄関脇に配置しています。

構造：鉄骨造 地上5階
延べ面積：6,794㎡
完成年度：平成30年度



② 女川オフサイトセンター

原子力事業所で事故が発生した際に、国・自治体・電力事業者等が参集し、応急対策を講じるための拠点施設です。

放射線が入りにくいよう窓が少なく、安全性の高い施設としています。

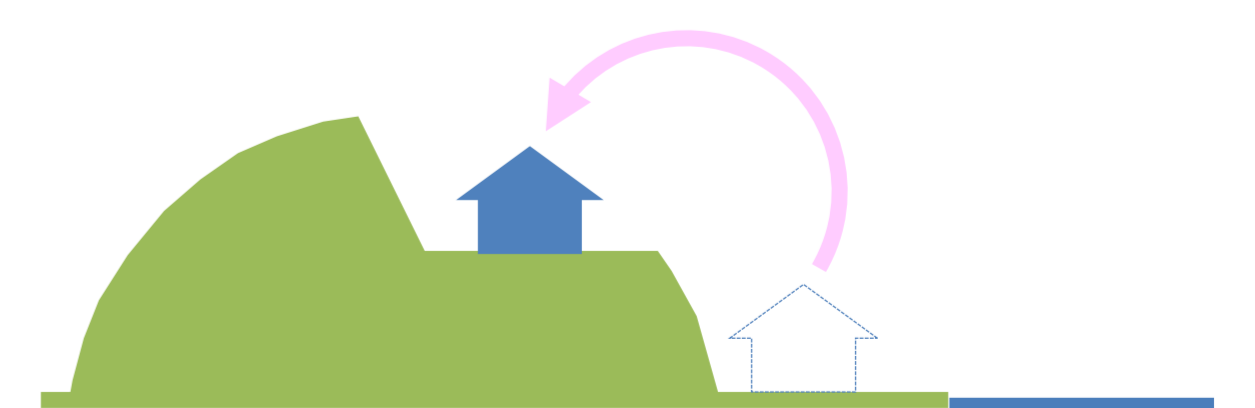
構造：鉄筋コンクリート造（免震構造）
地上2階
延べ面積：3,793㎡
完成年度：令和元年度

ご紹介する各施設の位置

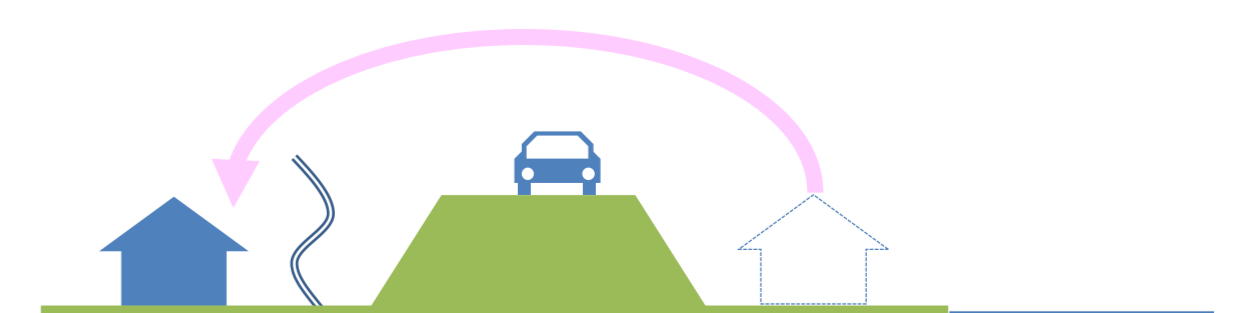
※この他にも各地で整備を行っています。



●：高台移転



●：内陸移転



公共建築から見る宮城県の復興

～ 被災した建物を移転・再建しています ～

【宮城県土木部営繕課】



③石巻合同庁舎

災害救助活動スペース確保のため駐車場は車止めを設けず、隣接する公園との一体利用を図っています。

また、ヘリコプター着陸スペースを設け、災害救助活動拠点としての機能強化を図っています。

構造：鉄骨造 地上6階
延べ面積：12,500㎡
完成年度：平成29年度

④松島自然の家

小中学校の宿泊研修に利用する本館や、キャンプ場などの野外活動施設を合わせて移転しています。

屋根や外壁に自然と調和する色彩を採用し、周囲に圧迫感を与えないよう小分けにした建物としています。

構造：鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造
地上2階
延べ面積：3,264㎡
完成年度：令和2年度予定



⑤農業高等学校

生徒の安全性と地域の景観に配慮したシンボルロード、生徒の憩いの場であり、地域とつながるセンタープラザを設けています。

田園風景と背後の山並みに調和し際立たせる景観・外観計画としています。

構造：鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造
地上2階
延べ面積：25,295㎡
完成年度：平成29年度

